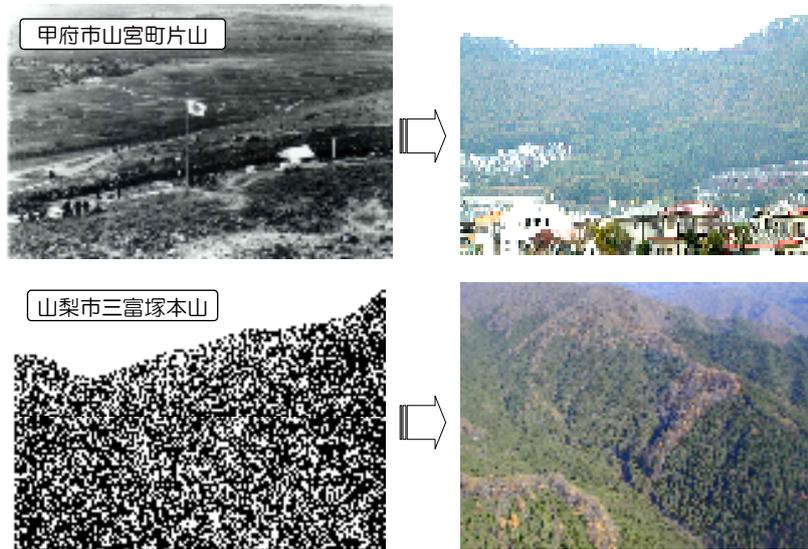
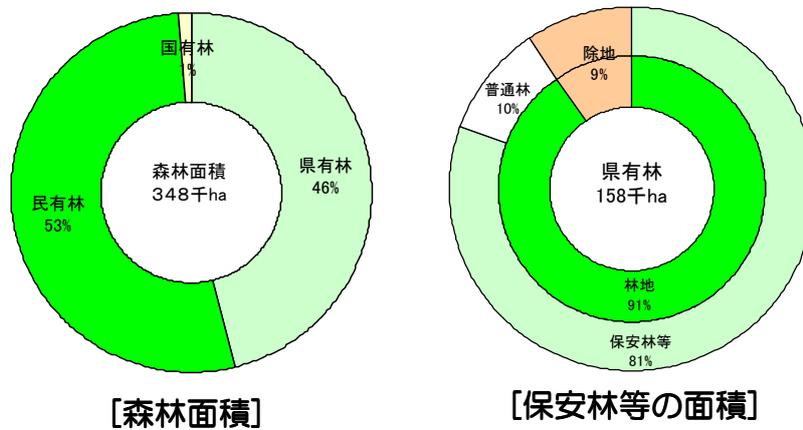


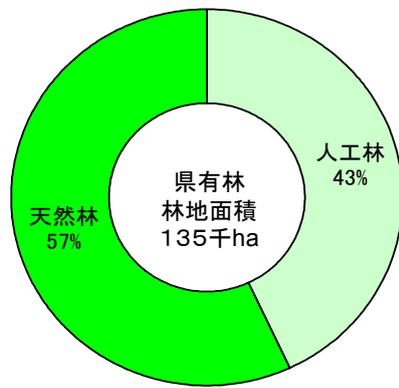
## 県有林の姿(過去→現在)



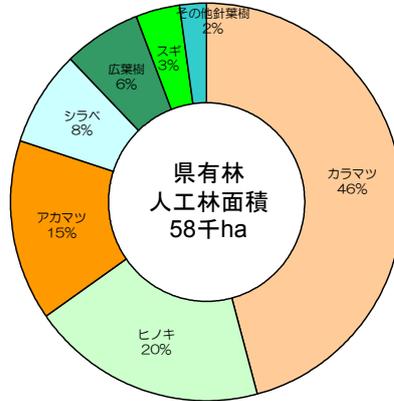
## 県有林の概況



### 森林資源の状況

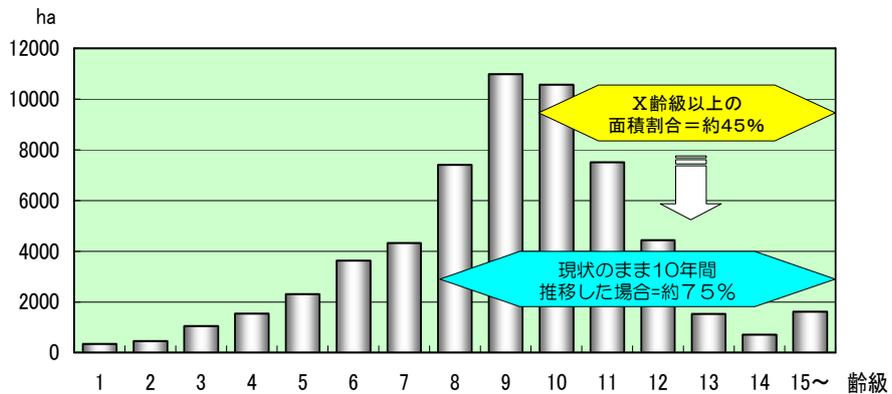


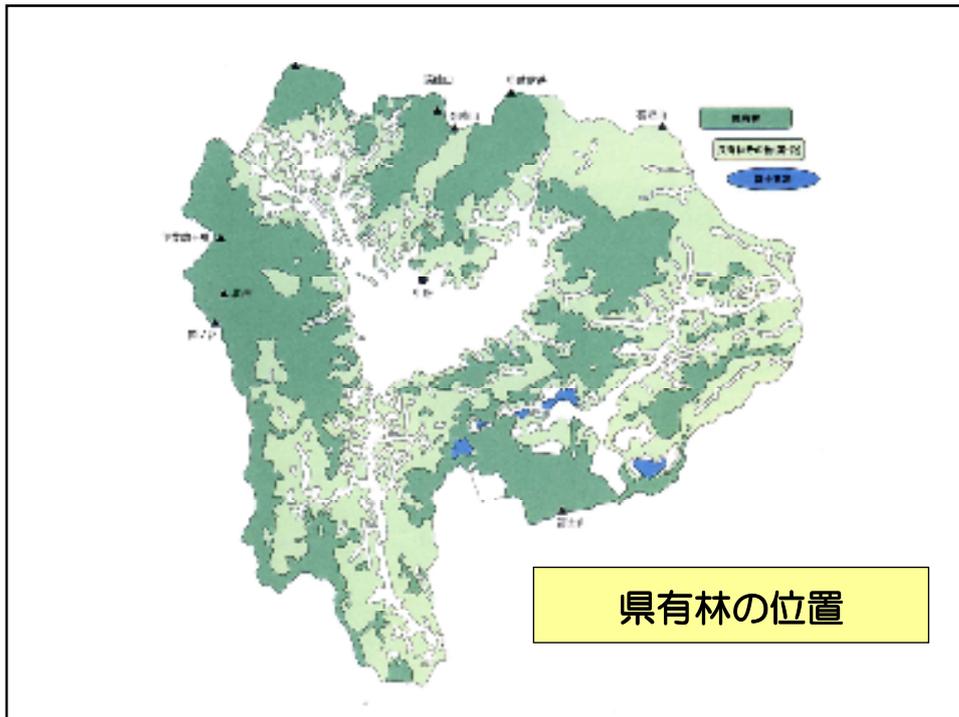
[天然林・人工林の割合]



[人工林の樹種別面積]

### 人工林の樹種別面積





### 県有林の特色

- ・ 主要河川の源流部に位置している。
- ・ 本県の山岳景観の主要要素となっている。
- ・ 暖帯林から寒帯林、高山帯植生まで多様な植生を有している。
- ・ 人工林率43%で、カラマツが主要植栽樹種。
- ・ 人工林は、収穫可能な林齢（50年生以上）の占める割合が大きい。
- ・ 富士五湖、清里などで観光資源としての役割を担っている

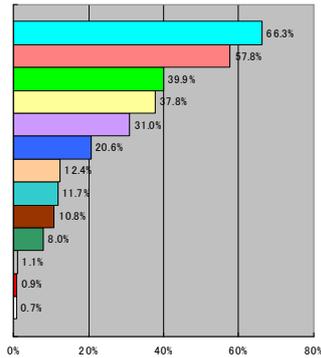
冬芽を脱いだイヌブナ

## 県民の森林や県有林に対する期待 1

※「やまなしの山・森林等に関するアンケート調査(2010.3)」(調査583人[回答436人])より

### ①<森林の役割への期待>

Q:「あなたは、山梨県の森林にどのような役割を期待しますか？」



**二酸化炭素を吸収することにより地球温暖化防止に貢献する**  
**山崩れや洪水などの災害を防止する**  
**貴重な野生動物植物の生息の場を提供する**  
**水資源を蓄える**  
 自然に親しむなど、野外における環境教育の場を提供する  
 景観を形成する  
 保健休養などのレクリエーションや癒しの場を提供する  
 大気を浄化したり、騒音をやわらげる  
 木材を生産する  
 きのこや山菜など林産物を生産する  
 特にない  
 その他  
 わからない

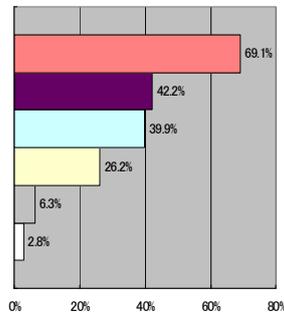
公益的機能への期待が高い

## 県民の森林や県有林に対する期待 2

※「やまなしの山・森林等に関するアンケート調査(2010.3)」(調査583人[回答436人])より

### ②<県有林への期待>

Q:「あなたは、県有林をどのように利用したいと思いますか？」



**休息や散策など心身の癒しの場**  
**学校林など、体験学習や環境教育の場**  
**森林公園などで開催される工作教室やエコツアー、トレッキングなどの自然体験活動の場**  
 植樹や下刈りなど森林を守り育てるためのボランティア活動の場  
 特にない  
 その他

憩いの場としての利用に対する要望が強い

県有林の管理



## 県有林管理計画

- 県有林管理の目的(県有林野管理規程第2条より)
  - ＞ 公益的機能を確保
  - ＞ 森林資源の質的向上
  - ＞ 林産物の持続的な供給
- 県有林全域を対象とし、10年間の計画を5年ごとに作成
  - 第2次管理計画 平成23年4月1日～平成33年3月31日
- 地域森林計画、県の長期計画等に即して作成

### 第1次管理計画事項の実行状況

- ほぼ計画どおりに実施(H18～21年度の実行率)

＞ 収穫量	：	計画455千m <sup>3</sup>	→	実施181千m <sup>3</sup>	40%
＞ 保育間伐	：	163百ha		65百ha	40%
＞ 林道	：	621百m		256百m	41%
＞ 作業道等	：	406百m		78百m	19%

平成21年3月に開設延長を13,700m増と変更したことによる

## 第2次県有林管理計画

- ・森林・林業に関連する近年の動向
- ・県有林に期待される役割

- ・森林の吸収源対策や生物多様性に対する役割
- ・国産材需要の高まり
- ・野生鳥獣の生息分布の拡大と農林業被害の深刻化

### 第2次県有林管理計画における「重点的計画事項」

公益的機能の維持増進

持続的・効率的な林業経営の確立

自然環境の保全

## 第2次県有林管理計画

### 計画事項1 公益的機能の維持増進

#### ① 県民生活を守る森づくり

- ・山地災害の未然防止や良質な水の安定供給
- ・二酸化炭素の吸収源としての機能の発揮

→ 治山事業や保安林整備などの計画的な推進、適切な間伐の実施

#### ② 県民福祉の向上に寄与する県有林の有効活用

- ・憩いと安らぎの場の提供
- ・地域振興に貢献

→ 森林公園、森林文化の森などの整備

計画事項2 **持続的・効率的な林業経営の確立**

- ・ 林業・木材産業の活性化
- ・ 地域雇用の確保

→ 収穫間伐の拡大、県有林内における路網整備

計画事項 **自然環境の保全**

① **人と自然が共存できる森林整備**

- ・ 動植物の生態系の維持・増進

→ 広葉樹の森づくりの推進

② **観光地や主要道路沿線における自然景観の向上**

- ・ 観光など様々な資源としての価値をたかめる

→ 地域の景観特性に配慮した森林整備

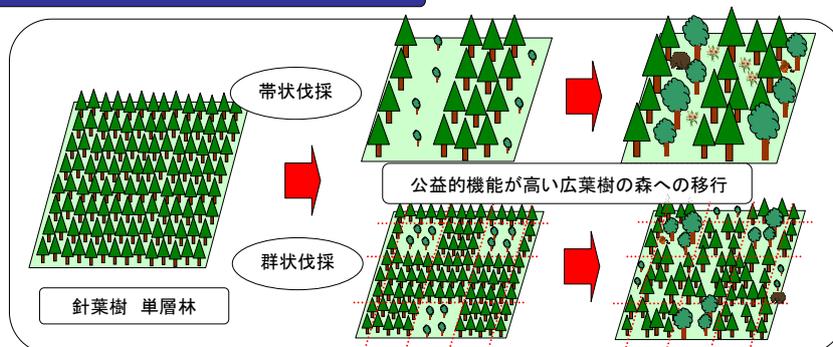
• 主な計画量の方向

- > 収穫量 : 国産材需要への期待  
収穫間伐対象林例林分の増加  
収穫可能な資源量の精査  可能な範囲  
で増加
- > 保育間伐 : 対象林齢林分の減少  
- > 林道 : より施業に直結する  
作業道等への切り替え  
- > 作業道等 : 収穫間伐などへの対応  
集約化・効率化施業への対応  林業専用道(仮称)  
も含め増加

重点的計画事項を踏まえた主な森づくりの方向 1

○ 公益的機能の高い森林の造成

公益的機能の高い森づくり例



## 重点的計画事項を踏まえた主な森づくりの方向 2

### ○ 経済林における集約化・効率化の推進

作業道等  
・幹線となる林道を補完し、森林作業道と組み合わせて間伐作業をはじめとする森林施業に供する道  
・森林施業専用車両等の走行を想定

#### 効率的な施業のための路網整備例

作業路  
・間伐をはじめとする森林整備、木材の集材・搬用に供され、地域の条件に適合した道  
・主として林業用機械の走行を想定

林道  
・一般車両の走行を想定し、不特定多数の人が利用する恒久的公共施設



ご清聴ありがとうございました。

